

## 令和2年度まちづくり懇談会 意見交換要旨（大朝会場）

質 問	回 答
<p>防災行政無線が終了することで、きたひろネットへ加入していない人に町からの情報が入らなくなる。加入促進キャンペーンで減免となるが、それまでかかってこなかったランニングコストがかかり、加入しないという選択をする人も出てくることも考えられるが、ランニングコストに対する支援などはないのか。</p>	<p>防災行政無線が廃止されることで、これまで防災行政無線で聞いていただいた情報を聞くことが出来なくなり、きたひろネットで聞いていただくよう今回説明をした。利用料については、非課税世帯について、半額の減免などをこれまでも行ってきているので、継続していきたい。新たに引込工事に対する減免などを行い、きたひろネットへの加入を進めていきたい。</p> <p>防災行政無線廃止後の対応については個別に話を聞き、どんな対応ができるかなど、検討をしていきたい。</p>
<p>地域の集会所において、現在、防災行政無線を設置している。集会所は地域の避難所にもなっており、廃止となると避難した時に音声情報が入ってこない。 集会所にきたひろネットの音声告知端末をつける場合はどのようにすればよいか。</p>	<p>集会所にきたひろネットの音声告知端末を設置した場合は、半額減免の対象となるので、地域のなかで検討していただきたい。</p>
<p>防災行政無線の廃止に伴う新たな情報伝達手段について、導入費用を抑え、将来に負担がかからないシステムにすることが重要とあるが、システムの構築など導入に際し、どの程度の費用負担がかかるのか。</p> <p>行政からの情報発信について、相当量情報発信をされると思うが、行政として受け取る町民がどの程度受け取っているかという実態調査は行ったことがあるのか。</p>	<p>導入費用について、デジタル防災行政無線を構築した場合、6億円から10数億円となる。本日説明をしたアプリの導入については640万円。また、防災行政アプリについては拡張性があるので、今後、必要な情報の追加などへも対応出来ると考えている。</p> <p>実態調査については、現状として難しい。防災お知らせメールについては約1,500の方が登録していただいている。防災情報アプリでは、防災情報以外の情報も発信することとなり、また、設定の段階で受け手側が必要な情報を選んで設定するなど、情報を選ぶことも可能になるため、多くの方が登録し、活用していただけたらと思っている。アプリについては、会社などの屋外でも利用できるのも、防災であれば避難等に活用していただきたい。</p>
<p>FTTH化事業について、IP電話サービスに加入した場合にNTTは解約できるのか。</p>	<p>NTTを解約して、そのままの番号でIP電話サービスを利用していただくことができる。</p>
<p>光回線への移行の際に、テレビが視聴できない、電話が利用できない、インターネットが利用できないなどについて、どのぐらいの時間発生するのか。</p>	<p>光回線への切替工事の際に使用できない時間については、おおよそ2～3時間ぐらいではないかと聞いている。</p>

## 令和2年度まちづくり懇談会 意見交換要旨（大朝会場）

質 問	回 答
<p>FTTH化事業について、過去にきたひろネット導入時にきたひろネットのIP電話サービスを利用する人のなかにNTTを解約した人もいた。今後、現在の050-5812-××××は終了し、0826-**-****になるとあるが、またNTTに戻るということなのか。</p>	<p>新たなIP電話サービスについて、NTTをやめた人が新たにNTTに加入する必要はない。番号が0826から始まるがこれはNTTに加入してもらえる番号ではなく、KDDIやソフトバンクが運営するNTTではない0826から始まる番号を利用していただくことになる。NTTに加入している方や休止している方については、その番号をずっと利用されているので、同じ番号で継続して利用していただくこともできる。</p>
<p>千代田のまちづくりセンターの建設について、今年3月の時点で6億円、今年度8億円の当初予算がついて、併せて14億円となっているが、3月の時点でコロナによる日本への影響が予想されていたと思うが中止されなかったのはなぜなのか。</p> <p>現時点で明らかにコロナ禍の中でホテル、飲食店、イベント関連など困っている人が増えてきて、学校関係では休校となり再開して子供たちのメンタルケアにソーシャルスクールワーカーが忙しくなり、人員が不足している。災害レベルの経済の落ち込みや生活困窮などみられているが認識はないのか。</p>	<p>まちづくりセンターの建設については、必要な工事として捉え、建設に向けて5～6年ほど前から計画し進めてきており、事業を止めることなく計画的に進めてきたため。</p> <p>コロナ禍における生活等への支援については別途の交付金等を活用して対応を行っている。</p>

## 令和2年度まちづくり懇談会 意見交換要旨（大朝会場）

質 問	回 答
<p>簡易水道事業について、広島県で統一して一つにすると新聞報道であったが県としてそのような動きがあるのか。</p> <p>現在の本町の水道料金について、県内では高いほうなのかそれとも低いほうなのか。</p> <p>壬生浄水場について、河川水を直接取水し、河川法の違反となり、この取水を止めなければならず、水を賄うために土師ダムから逆送管を設置して壬生まで引っ張り給水量を確保するということについて、7～8億円程度の経費が掛かるといふ話があった。川から直接取水することは出来ず、逆送する土師ダムからの水なら許可され、その工事をすれば、現在の給水量が確保されるということ間違いはないのか。</p>	<p>簡易水道も含めた水道事業の広域化については、今年度中にある程度結論を出し、来年度から実際に動き出すというスケジュールになっている。施設の老朽化や小さい規模の取水場がたくさんあるなどの課題もあるので、広域化する中で一緒に考えていきたい。</p> <p>本町の水道料金については、中間ぐらいであったと思う。</p> <p>法的には、そういうことになる。現在、河川から取っている水を急にダメということにはならず、経過措置という状況である。土師ダムの水利権は得たということで、違法ではなくなっている。この件についても、県の水道事業の広域化の中で考えていき、整理をしていくことになっている。</p>
<p>まちづくり懇談会の広報について、広報誌を見てチェックしたが、町のホームページも見たが、重要なお知らせの欄に載っていなかった。もう少し住んでいる人がもっと知ることができるような情報発信をしてほしい。</p>	<p>まちづくり懇談会については、広報11月号に掲載したほか、音声告知放送、きたひろネットの文字放送などで案内をした。ホームページについては、探しにくかったということで、改善をしていきたい。皆様と意見交換を行い、意見を参考にして町政運営に活かしていきたいと考えている。色々な世代の方に来ていただくということも趣旨であり、広報については、良い方向に改善を行っていきたい。</p>
<p>町内における、コロナに関連した廃業や失業、生活保護受給者の増加の状況について、また、特に心配しているのは子供たちのメンタル面であり、不登校の人が増えていると聞いているが、どのような影響が出ているか把握はしているのか。</p>	<p>コロナの影響による廃業や生活保護について把握は出来ていない。国からの臨時交付金を活用して、十分ではないかもしれないが、支援できればと考えている。</p> <p>まちづくり推進課にある求人情報センターにおける求人数については、以前に比べ減っている。求職者については、多少増えているという傾向である。</p> <p>不登校の数について、学校から毎月報告を受けている。コロナ禍以前と以後を比べ、急激な増加はない。しかし、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに対する相談件数は若干増えている。</p>

## 令和2年度まちづくり懇談会 意見交換要旨（大朝会場）

質 問	回 答
<p>きたひろ学び塾に1回目に参加をし、2回目は参加できなかったが参加者が少なかったと聞いた。そのような場を設けることは有意義であると思うので、地域のNPOや地域協議会などと連携しながら進めていくことが、協働のまちづくりにつながると感じる。</p> <p>スポーツツーリズムを提唱されているが、大朝におけるスポーツツーリズムをどのように考えているのか。大朝の場合、観光入込客数が相当悪くなっているが、そこについてどのように考えているか。</p>	<p>スポーツを核とした地域の活性化を掲げているが、スポーツについて、競技スポーツを連想するが、もう少し幅広く考え、健康づくり、運動習慣なども含めて、展開をしていこうと戦略を練っている。スポーツツーリズムもその中で、観光産業と結び付けていくことが考えられる。コロナウイルス感染症の現在の状況の中では難しいと考えているが、芸北の大佐スキー場で開催した「きたひろゲレンデ音楽祭」はコロナ対策を行いつつ、かなりの人が来て、それなりの成果があったと思う。ただ、現状ではイベントなどの開催がまだ難しい状況であると考えている。今後は、コロナウイルス感染症の状況を見極めながら地域にお金が落ちる仕組みも考えていきたい。</p>
<p>筏津にはお試し住宅があり、安い料金で実際に地域に滞在し、地域の雰囲気を感じ、定住等につなげていくということであるが、お盆前ぐらいに沖縄から利用に関する相談があり、対応を役場に相談したが、具体的な返答がなかった。先日も東京から相談があった。相談に対応している側として、コロナの状況の中でどのように対応していいか困ることがあるので、町として、お試し住宅の利用に関する指針を定めてもらいたい。</p>	<p>お試し住宅は町内に4か所あり、指定管理のもと事業を行っている。現在、利用に関する制限等は設けていない。現在、国の方針で移動等の制限がかかっている状況ではないが、感染が拡大している地域からの利用については、地元としても不安を感じることがあると思うので、今後、地元の方と調整をさせていただき、対応について協議していきたい。</p>

## 令和2年度まちづくり懇談会 意見交換要旨（大朝会場）

質 問	回 答
<p>加計山麓の残土処分場の調整池が昨年計画され、地元への説明があったが、それ以後の進捗状況について教えて欲しい。</p>	<p>残土処分場の調整池について、再検査をしたらかなり大きな調整池を造らなければいけないということで、芸北工業が入札で落札され、現在、地元説明を行っている。また、広域農道の関係でトンネルを掘ることになっており、業者が1月に地元説明会をしたいということであり、日程調整をしている。水利関係者や犬追原地域の方を中心とした地元説明会となると思う。トンネルについては工期が3年間ぐらいの予定である。予定では約7万㎡が犬追原の残土処分場に入る計画となっている。</p>
<p>きたひろネットのネット環境について、来年度、個人事業主であるが大朝に来たいということであるが、大きなデータを扱う事業をしており、今のネット環境では難しいという状況である。光回線の話もしているが、1年から1年半先になる。それまでに何かいい方法はないか。</p>	<p>きたひろネットのネット環境について、今回整備しているまちづくりセンターの一角にコワーキングスペースを設ける予定としている。来ていただくことになり、料金もかかるが、現状より通信速度は速くなると考える。FTTH化事業におけるネット環境の整備は、今後、光回線化を進めていく。工事等で1年はかかる予定である。その間の対応としては、きたひろネットでは120Mbpsが最大であるので、光回線の整備まで、その通信速度で対応していただく方法がある。</p>
<p>役場のメールの容量が10MBまでとなっている。10MBだと送信できないことがあるので、送信できるように対応できないのか。できない事情があるのか。</p>	<p>役場へのメールの容量について、現状では変更するのは難しい状況である。ただ、違う方法で情報の受け取りもできるので、個別にやり取りする中で対応についてお答えできればと思う。</p>
<p>100プロでは、大朝地域を中心に子どもを増やしていこうと活動している。昨年度の大朝の出生者が7人。他地域も減っている状況のなかで、北広島町としては、どのような政策を持って若い世代や子ども達を増やしたりしていきたいのか聞きたい。</p>	<p>子ども達が少なくなっているのは非常に危機感を感じている。これまでも若い人たちの定住や環境整備を行ってきたが、なかなか増えていないのが現状である。直近でいうと、コロナ禍において農村に若い人の目が向きつつあるという数字も出てきている。田園回帰傾向は東京ではかなりあるが、まだ、本町には届いていない。今回行うFTTH化事業は高速通信が実現しないとなかなか田舎に来てもらえないという部分もあると考える。サテライトオフィスなど色々なやり方があるので、これまでの施策と併せて進めていきたい。</p>

## 令和2年度まちづくり懇談会 意見交換要旨（大朝会場）

質 問	回 答
<p>大朝地域では移住・定住を希望する方からの要望があるが、それに対して空き家が全く足りない状況である。今回、大朝独自で空き家調査を実施し、移住者をサポートするシステムを大朝独自で作ろうとしている。</p> <p>現在、空き家が足りないので、宅地を探して欲しいという要望もあるが、宅地もないので、仕方なく田んぼを造成した。農地を宅地にする場合、農業委員会の許可が必要で、また、適当な大きさにならない。かわせみ団地があと一区画となり、次の団地を考えてほしい。現在、新庄のプール跡地が活用されていない状況であり、更地にすれば活用方法の検討もできる。民間活用も含め有効活用できるよう地域と一緒に考えて欲しい。</p>	<p>現在、かわせみ団地については1区画空いているが、ちょうど本日、購入の協議が入った状況である。今後の活用については、需要などの状況も踏まえ、地元の方と協議できればと考える。跡地利用について、地域としてどういった活用が一番良いかも含めて、行政、地域と一緒に考えていきたい。</p>